

作業所学会分科会 記録者用 事例・活動報告書

記録者名： 金子 良子
 (事業所) ラポールみなみ
 役 職： 管理者

発表者名： 松岡 純
 (事業所) ラポール川原
 役 職： 管理者

【発表事業所の概要】

事業区分	就労継続支援 B 型
定 員	20 人
活動内容	<p><u>自主</u></p> <p>木工製品 (額縁・鍋敷き他)・アクセサリー (イヤリング・ネックレス他)・紙すき (はがき)・縫製品 (ランチョマット・袱紗他)</p> <p><u>下請</u></p> <p>中敷きマット清掃・茶館組立他</p>

【支援・活動対象者の概要】

性 別	男性数名
年 齢	
障 害 の 種別・特性	知的障害

【支援・活動事例の概要】

目標・目的	<p>テーマ 私のしたい過ごし方</p> <p>～利用者さんの声から、私たち職員の役割を考える～</p> <p>キーワード 充実した生活のための、余暇の過ごし方</p>
計画・手段	<p>動画を使い、利用者へ、下記内容で質問し検討していく</p> <p>1、どんな余暇の過ごし方をしているのか</p> <p>2、困りごとや、支援者をお願いしたいこと</p> <p>3、今後「こうしたい」という希望</p>
内容・経過	<p>1の質問に対し…</p> <p>散歩・録画やビデオ鑑賞・TSUTAYA でビデオを借りる・お菓子を買う・事業所の周りをパトロール (雑草に関心あり)・ごろごろしている・ブロックゲームをやる</p> <p>2の質問に対し…</p> <p>コロナで行けなかったゲームを買いに行けた。自動レジは親が一緒なのでやってもらう・映画をセノバで見るため、ヘルパーさんがバス停の写真を撮ってくれてわかり易くしてくれたので自分で行けた。</p> <p>3の質問に対し…</p> <p>頭が痛い元気になったらゲームもいっぱいしたい・ヘルパーさんともっと遠くへ行きたい (例えば) 清水へ行きたい</p> <p>現状に満足している方もいれば、様々な希望のある方もいる。</p>

	<p>外出したいなどの希望はあっても、サービスに繋がっていない方もいる。</p>
<p>結果・課題</p>	<p>〈結果〉 個人差はあるものの、多くの利用者は様々な活動への参加や、人とのつながりを求めているように感じた。 事業所のほか自宅やグループホームで過ごす時間も満たされていないと仕事だけ頑張っても満足は得られないと思う。 「何のために働くか」を考えたとき、余暇の充実は、利用者の仕事のモチベーションになる。それは支援者が一人の利用者の「生活」をきちんと見つめることにもつながる。</p> <p>〈課題〉 相談支援事業所や移動支援事業を始め利用者の余暇を支えるサービスも整えられてきたが、利用者 と接する時間が長い作業所の職員がニーズの把握やサービスの調整をする必要性は、変わらず重要なこと。</p>

作業所学会分科会 記録者用 事例・活動報告書

記録者名： 金子 良子
 (事業所) ラポールみなみ
 役 職： 管理者

発表者名： 東地 廉夫
 (事業所) ラポールみなみ
 役 職： 目標工賃達成委員

【発表事業所の概要】

事業区分	就労継続支援 B 型
定 員	20 人
活動内容	自主 アート活動、スクリーン印刷、転写印刷、その他手作り品 下請 チラシ封入封緘他

【支援・活動対象者の概要】

性 別	男性、女性数人
年 齢	
障 害 の 種別・特性	知的障害

【支援・活動事例の概要】

目 標 ・ 目 的	テーマ…生活を安心して楽しめていますか ～QOLの向上。親なき後も安心・のびのび生活の実現をめざして～ キーワード…生活環境の鍵は「人」 コミュニケーション 信頼関係 生き生きとした暮らしを実現するために必要なことは何か
計 画 ・ 手 段	1. 動画を使い利用者会議で話し合う様子を見てもらう…利用者から「私のしたい過ごし方」と聞いても、ほとんど意見が出ず、場面（バスの中・買い物中・レストランで食事等）で分けながら経験した困ったこと、おかしいなと思った事を聞き出す。 2. 親等へのアンケート実施（当事業所以外の親等の回答含む） 質問事項 過去で困った経験、現在困っていること、これからの希望する過ごし方等
内 容 ・ 経 過	1. 利用者会議から セルフレジでのトラブル・公共の場で注意、叱責・レジでの（きつい）口調や説明不足「特にない」が圧倒的多数 2. 親等のアンケートから ①当事者が困っていること コミュニケーション（いや・希望が伝えられない等）、楽しみが少ない 逃げられない嫌悪刺激、合理化への対応（セルフレジ他） ②将来の不安（親として） GHで本人らしく生きていけるか（子の特性に対応してもらえるのか）

結果・課題	<p>〈結果〉</p> <p>生活を安心して楽しむ、生き生きと暮らす、安心・のびのび生活を実現する鍵は「人」である。(最も重要な環境要素)</p> <p>多くの親に共通する願いかつ不安は、「(親以外で)自分をわかってくれる、この人は信頼できる」と本人が思える人ができるか、基本的な信頼関係、平和共存関係を感じられる世界で生きられるか、ということ。</p> <p>〈課題〉</p> <p>「わかってくれる」「信頼できる」と当事者から思ってもらえる人になること</p> <ol style="list-style-type: none">1. コミュニケーション 心(感情)の交感、共有ができるやりとり(特に非言語) 「伝えていいんだ。伝えて良かった」と思えるやりとり2. 人権・主体性の尊重 個として尊重されているか。(特性に応じた個別対応・個別支援) 自己決定権があるか。 共に暮らし、働く仲間になる(ケアする・される関係ではなく)
-------	---

作業所学会分科会 記録者用 事例・活動報告書

記録者名： 金子 良子
 (事業所) ラポールみなみ
 役 職： 管理者

発表者名： 望月 融・利用者 A さん
 (事業所) グループショップぱれっと
 役 職： 管理者・利用者

【発表事業所の概要】

事業区分	就労継続支援 B
定 員	20 人
活動内容	<p><u>自主</u></p> <p>縫製品・編物・紙製品他・G ショップ（こころの医療センター内喫茶・売店の営業他）</p> <p><u>下請</u></p> <p>箱等組立・茶飴袋入れ他・自動車部品の組み付け・紙缶組立他</p>

【支援・活動対象者の概要】

性 別	男性
年 齢	
障 害 の 種別・特性	主に精神障害

【支援・活動事例の概要】

目標・目的	<p>テーマ…私の 3 つの過ごし方</p> <p>3 つの過ごし方から生きがいについて考える事ー</p> <p>キーワード 詰将棋 彼女 仕事</p>
計画・手段	<p>ぱれっとの利用者さんの事例</p> <p>「私のしたい過ごし方」ではなく「したい過ごし方の希望をかなえるために 3 つの過ごし方」から生きがいを見出した A さんの例を本人の言葉を通じて感じ取ってもらう。</p> <p>話す内容</p> <p>1、詰将棋について</p> <p>2、彼女と過ごす時間</p> <p>3、ぱれっとで働く事</p>
内容・経過	<p>詰将棋…</p> <p>趣味を持ちたかった、脳トレにもなる。</p> <p>苦労した後に解けたときの気持ちは計り知れない。楽しい、嬉しい幸せな気持ちの感情で心がいっぱいになる。小さな成功体験、これは立派なストレスコーピング（ストレス対処行動）と思っている。</p> <p>彼女と過ごす時間…</p> <p>バス停で出会えた彼女、バスの中でナンパ、6 年付き合っている。</p> <p>彼女の人間としてのいろんな魅力を発見することが楽しくて生きがいとなっている。</p> <p>ぱれっとで働く事…</p> <p>試験通所が 4 か月あった。続けられたのは事業所の季節の行事に呼ばれ楽しめたこと。</p> <p>ぱれっとは障害の程度に応じて仕事を用意されていた。ブランクが長く難しい仕事はできなくて続かない。これくらいの難しさならなんとかやれそうだと頑張り、日々自信を付けた。</p>

	<p>毎日仕事をしていて障害を抱えてもできることに幸せを感じている。</p>
結果・課題	<p>〈結果〉 事件を起こしてきて、30年入院してきた。3つの過ごし方で生きがいを見つけ苦しみ悲しみ、辛いことを乗り越えてきた。 入院中働くのは嫌と思っていたが、今は働くことが楽しい。 恩返しをしたいと思っている。</p> <p>〈課題〉 利用者さんの生きがいを見つける事 利用者さんの生きがいをどう支えていくのか</p>

作業所学会分科会 記録者用 事例・活動報告書

記録者名： 金子 良子
 (事業所) ラポールみなみ
 役 職： 管理者

発表者名： 杉山 元太
 (事業所) 本人部会委員
 役 職：

【発表事業所の概要】

【支援・活動対象者の概要】

事業区分	
定 員	
活動内容	

性 別	男性
年 齢	37 歳
障 害 の 種別・特性	身体障害

【支援・活動事例の概要】

目標・目的	杉山さんの経験から感じ取っていることなどをお話しいただく
計画・手段	Zoomにて杉山さんよりお話しいただく
内容・経過	<p>特別支援学校では、医療的ケアを必要とする仲間と学んでいた。自分は話が出来たので仲間の思いを代わりに周りの人や先生などに伝えた。話以外のコミュニケーションの大切さ、どうやってコミュニケーションをお互いに受け取り合うかを学んできた。</p> <p>連合会とは 2004 年からの付き合い、進路指導の先生の紹介でゆうゆう舎という事業所の利用者になり、わの事業「ふれレク」等に参加…感じたこと 職員が仕切って、メンバーは見ている、学校の先生と生徒と変わらない、メンバーが運営しても良いのでは、メンバーのためのイベントではないか、もう少しメンバーさん同士が交流できる場ができないか・・・本人部会を自分が提案、本人部会第 1 回開催の時は激論を交わせるパワフルな機会があった。</p> <p><u>作業所</u> 仕事に追われ夢とかやりたいことが大人になっていく過程で少なくなってメンバー同士が話をする機会がない。自分の事業所しか関われない。残念なところだ。</p> <p><u>作業所の課題</u> 家族・本人が「生活が苦しくなった時」どういう風に他人の力を得たら良いかの情報を知らない、例えば静岡市の福祉のしおりをメンバーに配ってない、担当者しか知らない。もっと社会資源を知っていく。例えば移動支援 最大 25 時間 週末のお出かけで週 1 回 5 時間では思うような所へ行けない。社会資源のホームヘルプが使えるようにもっと事業所として言っていく。「わ」としてもホームヘルプが使えるよう言っていく。</p> <p><u>地域との関り</u> 学生ボランティアとクリスマス会を企画、学園祭に出て、お互いの物を売る、作業所の魅力は地域にあること。学生と地域住民が気楽に出入りしてもらい機会を作っていくことで事業所を超えた付き合いができるようになるのでは。</p> <p>語り合う時間を増やしていく。そのようにしていくことでテーマである「私のしたい過ごし方」が見えてくるのでは。</p>

結果・課題	<p>〈結果〉メンバーの時、職員に打ち明けられない、話しかけづらい事があった。職員は目上の存在、メンバーは我慢しているし、遠慮している。</p> <p>作業所は仕事をする場であり工賃を生み出していかななくてはならないが、もっと人間対人間、心と心の付き合いをして、職員とメンバーが語り合う時間を増やしていく。そのようにしていくことでテーマである「私のしたい過ごし方」が見えてくるのでは家族もオーダーしたいことがある。</p> <p>〈課題〉 聞き合う、事業所ごとで出来るシステムを作っていく。</p>
-------	---

作業所学会分科会 記録者用 事例・活動報告書

記録者名： 金子 良子
 (事業所) ラポールみなみ
 役 職： 管理者

発表者名： 出口 奈央
 (事業所) テラス・きらっと
 役 職： 管理者

【発表事業所の概要】

事業区分	就労継続支援 B 型
定 員	30 人
活動内容	<p><u>自主</u></p> <p>手造り味噌・ドリップコーヒー・ 座布団・マット・ヘアゴム</p> <p><u>下請</u></p> <p>自動車部品組立・箱折・ライター パーツ入れ・ネジ袋入れ・保育用 品袋入れ他</p>

【支援・活動対象者の概要】

性 別	女性 1 名 男性 5 名
年 齢	
障 害 の 種 別 ・ 特 性	知的障害者

【支援・活動事例の概要】

目標・目的	<p>テーマ 私のしたい過ごし方 ～人生を楽しむために…不安に思うこと</p> <p>キーワード 経験 選択肢</p> <p>「私のしたい過ごし方」と聞いて、自分の望むことを答えられた人は殆どいなかった。現状に不満を感じていないと言う。</p> <p>1、何に困っていて何が不便なのかわからない人が多くいるので、会話を重ねることで困っている部分を見ていく。</p> <p>2、困っていることの解決策に取り組む。</p>
計画・手段	<p>同法人 (NPO 法人たからじま) 内のテラス・おれんぢ、テラス・からふる、テラス・あとリエ、テラス・ひだまり、テラス・きらっとより、動画を使い利用者の意見や感想を聞いた様子と事例を報告する</p>
内容・経過	<p>① テラス・おれんぢ 実施日：普通の平日 利用者「一人でもっと下 (町の方) に買い物に行けたらいいのに」 事業所取り組み 平日みんなで一緒に出かける機会を作り衣料品店等に出かけ、他の店にも行け、楽しく買い物することが出来た。</p> <p>② テラス・からふる 利用者 趣味がお菓子の箱集め。簡単に手に入らない季節限定のお菓子の箱物集めは支援員に協力を求めている。 事業所取り組み ただ持って帰るだけではなく本人と相談してゲーム感覚でゲットすることとした。結果、沢山の箱を前に選ぶ楽しみも増え、以前より趣味を楽しんでいる。</p>

	<p>③ テラス・あとリエ <u>利用者</u> 事業所内で仲良くなった利用者という時間が楽しく休みの日も出掛けたいと思っているが、時間がルーズなため、待ち合わせの時間に遅刻しないか不安で計画がたてられない。 <u>事業所取り組み</u> 不安を解消するため、職員が話に加わりスケジュールを立てた。不安要素を取り除き出かけることが出来た。 解消の方法は、連絡方法の練習をした。SNSで「起きたよ」「今出かけるよ」など</p> <p>④ テラス・ひだまり <u>利用者</u> 大好きな芸能人と結婚したい夢があり、会うためには言葉遣い、ダイエット、カッコよくなりたいがどうすれば良いのか <u>事業所取り組み</u> 仕事を頑張ってお金を貯めることを提案、現在お金を貯めるべく仕事に没頭している。</p> <p>⑤ テラス・きらっと <u>利用者</u> 出かけることが好き、グーグルマップで行き先を調べ公共バス利用、交換ノートに「帰りのバスが心配」との記入有 <u>事業所取り組み</u> 本人から理由を聞き原因を調べるとグーグルマップの設定違いが判明。設定変更し心配から解放され行事に参加できた。</p>
結果・課題	<p>〈結果〉 会話を重ねることで、困っていることが見えてきた。その困っている部分を取り除くことで、沢山楽しめることが出来る</p> <p>〈課題〉 経験が少なく、選択肢が限られているため、今が一番良いと思っているのではないのか。少しでも選択肢が広がるように、日々の生活や行事などを通じ、色々な経験ができるようにしていくことが課題ではないか。</p>

【意見交換】

(事例からテーマを抽出して)

事業所に保護者は手伝いに来るのか？

ラポールみなみ 東地様：地域交流のわくわくまつりのイベント開催の時、焼きそばを販売してもらっている。

ウィズ蜷塚 佐藤様：レクリエーションでイオンに買い物に行く

利用者が主体になっている活動は？

ウィズ蜷塚 佐藤様：クリスマス会のイベントでは、自分で立候補して司会を担当したり、食べ物はみんなの希望を聞いたりして開催している

【まとめ】

(テーマに対する分科会としての結論や方向性)

利用者への問いかけに様々な意見が聞かれました。

ご意見には個人差はあるものの多くの利用者が様々な活動への参加や人とのつながりを求めている事を感じました。

そして、質問をする事への難しさがあり、問いかけへの回答に傾聴をするだけではだめで、聞かれたことのみで答えていく利用者がいたり、選択肢を提示していかないと意思表示が難しい利用者がいたり、質問自体を把握する事が難しい利用者がいたりしする事がわかり様々な意思の確認方法の大切さも知りました。

また、丁寧に利用者の意思を聞く事によってまた話してみようと次の欲求が出てくるようになっていくとの話もあったので関わり方もとても大事だと感じました。

今回の分科会で利用者と接する時間が長い作業所の職員が「1人」の利用者の「生活」をきちんと見つめ、ニーズの把握やサービスを調整する事で、利用者も仕事だけを頑張っても満足が得られないが生活というプライベートもあわせて見つめていく事で満足できるのではと感じました。

また、各事業所で様々な取り組みをして仕事ばかりではなく生活面で深く関わり対策を立てて個に寄り添った支援をしているとも感じました。

最後に、職員としてどの様な関わりが出来るのか考えると、やはり「人」が重要になっているので利用者から信頼をしてもらえよう関わりを考え続けていく姿勢は大切だと感じました。

今後も本人部会として本人が活躍できる場を作れたらと思います。